

# 立花中だより

尼崎市立立花中学校  
校長 藤田美貴子  
平成22年度 学校だより  
第15号(H.23.3.8・火)

<http://cen-web/school/J14/index.html>

教育目標「強く…健全な心身を育てる。正しく…正しい判断力をつける。優しく…思いやる心を育てる」

## 正門・体育館入口等の塗り替え

先月の19日(土)と20日(日)、尼崎塗装工業協同組合次世代会の皆さんと生徒会執行部の皆さんの手で、正門と正門横の柵、学校の敷地西側の壁(技術室裏)、体育館入口の塗り替え作業を行いました。

尼崎塗装工業協同組合次世代会は、「自分が育った、子どもが通う、地域の顔ともいえる学校をきれいにしたい」という思いで、社会貢献の一環として今年の4月からボランティア活動を始められている有志の集まりで、普段は本業の仕事をされながら、時間を見つけて活動をされていて、学校の塗装作業としては、本校が3番目となります。二度の学校側との打ち合わせ、材料の手配(提供)を経て、当日は、ヤスリがけ、マスキング、下塗り、仕上げの作業が、6人の職人さんが生徒会執行部の皆さんと一緒に行われました。



職人さん達の都合や天候の善し悪しもありますが、卒業式や入学式を少しでもきれいな状態で迎えて欲しいということから、2月のこの時期に作業を行いました。

休日返上で作業していただいた尼崎塗装工業協同組合次世代会の皆様、この場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

## 「橘の木」植樹

先月の15日(火)、「たちばな・七松線きずなロードの会」の事業で、「橘の木」の植樹が行われました。

「橘の木」は、かんきつ類に属し、葉は硬くだ円形で、枝にとげがあり、6月に白い小さな花を咲かせます。果実は球形で黄色く熟しますが、食用には向いていません。平安時代以降、今の尼崎市北部地区に橘の実を栽培する果樹園から広がっていったと考えられている貴族の領地「荘園」があったことから、「橘御園」(たちばなのみその)と呼ばれていた地域がありました。江戸時代には、このあたり

の多くの村々が「橘御園庄」（たちばなみそのしょう）と呼ばれていて、後の立花村の由来になっています。このように、「橘の木」は、立花地域に大変ゆかりのある木です。

本校は、正門前の枯山水庭と体育館前の二カ所に植樹しています。ご来校の際には、ぜひご覧になってください。



## 3月～新学期の主な行事予定

- 3月**
- 1 (火) 3年球技大会、生徒会新入生説明会 (立花南)
  - 4 (金) 生徒会新入生説明会 (立花北)  
立花中学校区健全育成協議会
  - 8 (火) 福寿会早朝清掃活動
  - 11 (金) 卒業証書授与式
  - 12 (土) 新入生体操服等販売 (交換日19・土)
  - 14 (月) 朝礼、公立一般入試、教育相談週間 (~18・金)
  - 15 (火) 1年球技大会
  - 17 (木) 2年球技大会、修学旅行・進路説明会  
1年校外学習 (神戸)
  - 21 (月) 公立一般合格発表 (春分の日)
  - 22 (火) 福寿会早朝清掃活動、お弁当終了
  - 25 (金) 修了式
- 4月**
- 7 (木) 始業式
  - 8 (金) 離任式、教科書配布、入学式準備
  - 11 (月) 入学式
  - 12 (火) 対面式、お弁当開始
  - 13 (水) 身体測定、クラブ紹介
  - 19 (火) 1年宿泊学習保護者説明会
  - 21 (木) 家庭訪問 (~25・26・27・28)
  - 22 (金) 創立記念日
- 5月**
- 12 (木) 修学旅行 (~14・土、沖縄方面)
  - 17 (月) 1年宿泊学習 (~18・火、神鍋方面)

(編集責任者：教頭 福井 隆夫)